

生きていくために必要なお金とは？



【概要】

再現された本物の街で、生活に必要とされるお金について、大人の立場で生活設計をするプログラム。学校での事前学習で習得した生活に関する知識を、ファイナンス・パークで実際に使いながら、お金と自分に関わる様々な選択と意思決定を行います。

「企業」「保護者」「学校」が生徒の活動に関わります。



【ねらい】

学んだことを単なる知識の蓄積として終わらせるのではなく、その知識を自分のものとして「実際に使える」よう、「自ら考え・意思決定し・行動に移す場」として提供。

子どもたちが生涯にわたって賢い生活者としての意思決定ができるよう、その素地を培うための問題解決能力を育む学習です。

【学校～学習の流れなど】

- 各自治体の指導科目（「市民科」など）に組み込まれます。
事前学習 8 時間、当日の体験活動 6 時間、事後学習 1 時間、計 15 時間のプログラム。
- 教員向け指導書、生徒向けワークブックは、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 (JA Japan) の主導で教育委員会とともに準備・調整を行い、各校へ配布。
- 事前学習
資料をもとに学校で先生が実施。
生活に関する基礎項目を学ぶ。
- 当日（ファイナンス・パーク専用施設にて）
施設まで先生が引率、JA Japan が提供するプログラムを体験。
生徒はそれぞれに与えられた人物像（例：30 歳、既婚、子ども一人、年収 650 万円など）から月間純所得を計算した後、各ビジネスブースを回って予算項目について情報収集し、自分の収入に見合った支出レベルを意思決定する。
教育委員会、企業社員、市民や保護者のボランティアが生徒の活動をサポート。
- 事後学習
学校で先生が実施。
- 生徒たちは、すべてのプログラムを無償で体験することができます(諸条件あり)。
詳細はお問い合わせください。
- プログラムの実施資料のみのご提供は、受け付けておりません。

【プログラム展開に際して】

- 導入を検討される場合は、市町村、JA Japan、支援企業との協議が必要になります。
- 宮城県仙台市、福島県いわき市、東京都品川区、京都府京都市で展開中。(2019年1月現在)
- 視察、見学希望の場合は、各市町村の教育委員会を通してJA Japanへお知らせください。



【企業～役割など】

- 企業は、ファイナンス・パーク専用施設にブースを出店します。
- 企業社員、市民や保護者のボランティアが協力し、生徒たちに「家計」をアドバイスします。
- 企業のみなさまには、子どもたちがすべてのプログラムを無償で体験できるようご協力いただいております。
- プログラムの実施資料のみのご提供は受け付けておりません。



日本本部 東京都品川区北品川3丁目9-30 〒140-0001

Web: www.ja-japan.org

担当: 高木 TEL (090)5557-8089

Mail tmasa@ja-japan.org

西日本 担当: 松本 TEL (090)8578-8459

Mail matsumoto@ja-japan.org

国際本部 Junior Achievement Worldwide

177 Milk Street, Ste 100, Boston, MA, 02109 USA

すべてのプログラム、コンテスト等に関する諸権利は、「Junior Achievement Worldwide」および「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」(JA Japan)に帰属します。